

令和7年度 海津市環境審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年2月10日(火) 午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所 海津総合福祉会館「ひまわり」 2階 研修室2
- 3 出席委員 里雄 淳意(海津市議会 議長)
菱田 康夫(海津市環境パトロール員 代表)
島 俊成(海津市自治連合会 代表)
岡田 均(海津市商工会 会長)
桑原 文子(海津市食生活改善協議会 代表)【会長】
宇佐美 傳(川をきれいにする会 代表)
日比野 規幸(岐阜県地球温暖化防止活動推進員)
中島 一紀(南濃町ハリヨを守る会 代表)
中田 由佳(海津市小中校長会 代表)
中村 義行(㈱日本環境管理センター 管理部長)【副会長】
奥村 豪敏(岐阜県西濃県事務所 環境課長)
計11名(敬称略・順不同)
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 奥村 孝司(市民生活部長)
高木 英雄(生活・環境課課長)
川崎 晴弘(生活・環境課課長補佐)
北條 貞行(生活・環境課係長)
- 6 議題等
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 報告事項
 - ①第3次環境基本計画の進捗状況について
 - ②省エネ家電買換支援事業(第3弾)について
- 7 報告事項
 - ①第3次環境基本計画の進捗状況について
 - ・事務局より「資料1」から「資料5」をもとに計画の進捗状況について報告する。
 - ・「資料4」に記載の今尾小学校における廃食用油の回収・再生事業について、議長の許可を得たうえで、当事業に関わっている日本環境管理センターの佐藤氏を議場へ招き、事業概要の説明をお願いした。

- ・輪之内町の NPO ピープルズコミュニティが平成 14 年に開始した「ぎふ地球環境塾」の事業について、令和 2 年に一般社団法人ぎふ地球環境塾として日本環境管理センターが事業を継承したことが説明された。また、今尾小学校の 5 年生による総合的な環境学習の一環として、同校で実施した出前授業では、高純度バイオディーゼル燃料 (BDF) の歴史や製造方法、廃食用油の回収方法についての学習を実施した。その学習をきっかけに「eFor 未来の地球防衛隊」を立ち上げ、小学校として廃食用油の回収活動を自発的に開始したことが報告された。また、生徒が扱いやすくなるように、回収専用ボトルを学校へ贈呈したこと、昨年 12 月に第 1 回目の回収を実施したことなども合わせて報告された。
- ・今後の取り組みとして、「未来の地球防衛隊」専用のホームページを立ち上げ、廃食用油の回収に限定せず、小学校での環境活動全般について掲載し、市内の各小学校に広める計画であることが説明された。
- ・学校給食センターの廃食用油はどうなっていますか。(委員)
- ・当社(日本環境管理センター)で回収しております。また、他県の事例ですが、回収した廃食用油を給食センターの配送トラックの燃料として活用することで、子どもたちがその取り組みを目で見て実感でき、理解を深める活動が実施されています。できれば、海津市でも同様の活動ができないかと考えております。(日環)
- ・配布資料のホームページ掲載案には、今尾小学校以外の市内の他の小学校についての記載がありますが、今後、他校へも同様の展開を考えておられますか。(委員)
- ・今後は、大人が各小学校へお願いに訪問するのではなく、可能ならば今尾小学校の 5 年生が各小学校に訪問し、交流しながら直接活動への参加を依頼したいと考えています。また、海津特別支援学校へは今尾小学校の取り組みを動画撮影し、その撮影動画を支援学校の生徒の方に見ただいて、自発的に活動に参加していただけるよう調整しています。最終的には、市内のすべての学校に、この活動を波及していきたいと考えています。(日環)
- ・今尾小学校のボトル贈呈式に私も参加しており、このように地域ごとにお互いの立場で協力し合えることは、非常に喜ばしい活動だと認識しております。(委員)
- ・市内の飲食店から出る廃食用油について、特にお千代保稲荷参道の串カツ店などから大量に出てくると思いますが、再利用は可能でしょうか。(委員)

- ・串カツ店からの廃食用油でも BDF の精製は可能ですが、植物性廃食用油のみを回収しています。これは、植物が成長する過程で二酸化炭素を吸収しているため、この油を BDF 化することで二酸化炭素の排出を相殺し、カーボンニュートラルを達成できるからです。そのため、動物性廃食用油の回収は行っておりません。(日環)
- ・今尾小学校における廃食用油の回収・再生事業についての質疑が終わったので、日本環境管理センターの佐藤氏に議場からの退出をお願いした。
- ・引き続き計画の進捗状況について報告する。
- ・施策 2 の「家庭系ごみ 1 人 1 日あたりの排出量」について、令和 6 年度の実績が 464 g、令和 14 年度の最終目標値が 400 g となっておりますが、このペースで目標達成は可能なのでしょうか、事務局の見解を伺いたい。もう一点、施策 5 の「各学校・各種団体等へ環境教育の実施」について、岐阜県の地球温暖化防止活動推進センターでは、毎年出前講座を実施しているので、積極的に活用していただければと思います。(日比野委員)
- ・家庭系ごみの減量化に向けた具体的な施策は、現在のところ十分に講じられていない状況です。これまでプラスチック容器包装を「プラスチック資源」として収集してきましたが、令和 12 年度を目標に、従来は可燃ごみとして廃棄されていたプラスチック製品（プラスチック 100%製品）も「プラスチック資源」として収集する計画です。この計画の実施により、可燃ごみの減少を図り、ひいては 1 人あたりの排出量削減につなげていきたいと考えています。(事務局)
- ・各学校への講師派遣による出前講座について、推進センターを活用している市内の学校もあると聞いておりますが、具体的な情報が生活・環境課には届いておらず、把握できておりません。(事務局)
- ・市内の学校だと下多度小学校が積極的に活用されており、以前であれば海西小学校でも出前講座が実施されていたと伺っています。講師派遣についての費用は発生しないので、積極的に活用していただきたいです。(委員)
- ・今後は、市内の学校で出前講座を活用していただけるよう教育委員会を通じて周知してまいります。(事務局)
- ・日比野委員には、県の事業紹介をしていただきありがとうございます。推進センターとは別に、県庁では 12 名の環境教育推進員が出前講座の講師として派遣を行っています。こちらの派遣費用も無料ですので、ぜひご利用ください。(委員)
- ・ありがとうございます。積極的に利用させていただきます。(事務局)

②省エネ家電買換支援事業(第3弾)について

- ・事務局より「資料6」をもとに買換支援事業(第3弾)について報告する。

8 その他

- ・日本環境管理センターの取り組みについて、非常に良いことだと感じております。子どもの頃から環境意識が育まれることは非常に重要であると考えています。今後は議会としても環境教育の推進に寄与し、これらの取り組みをさらに支援できるよう努めたいと思っております。(委員)
- ・「資料5」の公共用水域水質検査報告書についてお伺いします。ほとんどの河川はきれいで、数値的にも問題はないように見受けられます。しかし、一部の箇所だけを調査している可能性もあるのではないかと懸念しております。そこでお願いがあります。津屋川左岸を車で走行している際に、土砂が流れ込んでいるのかは分かりませんが、水が濁っている箇所を見かけました。次回の調査の際には、そのような箇所にも少し注意を払っていただけると幸いです。(委員)
- ・承知いたしました。戸田処分場への定期巡回時には、国道258号線を経由して津屋川の左岸沿いを走行しております。その際、河川の状況や濁りなどに十分注意を払ってまいります。(事務局)
- ・これは私の個人的な経験ですが、以前、琵琶湖の近くに住んでいたことがあります。その地域では、ゴミの分別が非常に細かく定められており、住民にとって大変な取り組みだったことを記憶しています。その当時、市と学校が連携して積極的に出前授業を実施し、子どもたちの意識を変える活動を行っていたと聞いたことがあります。今後、出前授業について校長会を通じて広く周知し、廃食用油の回収についても協力体制を整えていきたいと考えています。また、ハリヨ池に関しては、大垣東校と連携しながら環境意識を向上させる活動を進めていければと思います。(委員)
- ・地元企業として環境保全に取り組んでいる立場から、ごみの減量化やリサイクルの推進を継続して進めてまいります。先ほどご説明した今尾小学校との連携に関してですが、市内全域の学校へこの取り組みを広げていきたいと考えています。廃食用油の回収量の規模としては少量ではありますが、子どもたちへの環境教育の実践や海津市の未来を見据えた取り組みとして、これを継続していくつもりです。リサイクルの輪をさらに広げ、市内の環境が今よりも良くなるよう尽力してまいります。(委員)